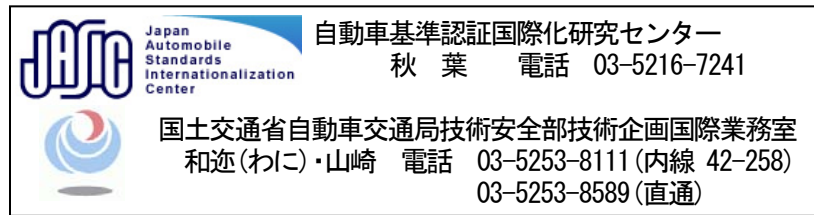


平成 19 年 4 月 20 日



自動車安全・環境規制の国際的な相互承認制度について、 車両全体の認証への拡大を目指す JASIC 活動方針を決定

1. 4 月 19 日、自動車基準認証国際化研究センター(JASIC: 国土交通省と関係業界等の協力による組織)では、さらなる基準・認証の国際化を促進するため、自動車安全・環境規制の国際的な相互承認制度について、従来の装置や部品レベルから、車両全体のレベルへの拡大を目指していくとの方針を決定し、今後、そのための基盤整備として、安全・環境基準の統一、車種区分等の統一及び認証運用面の統一についての提案に向けた検討を開始します。
2. 世界各国における自動車安全・環境規制については、「国連の車両・装置等の型式認定相互承認協定」(58 年協定)に基づき、現在、装置や部品の相互承認のレベルで取り組まれています。これを車両全体のレベルの取り組みに拡大することで、安全・環境基準の採用項目、車種区分等及び認証運用の統一が図られ、国際的な基準調和と相互承認が大幅に進展します。
今後、JASIC では、国内での作業を進め、得られた検討結果について、平成 21 年度内を目途に国土交通省から他の 58 年協定及び 98 年協定加盟国に提案し、平成 27 年度内に加盟国間での合意に至ることを目指します。この基盤整備が行われた上で、関係国家間において現在の協定が大幅に改正され又は新たな協定が制定されれば、究極的な車両認証の相互承認制度の構築が実現します。
3. なお、JASIC は、国土交通省、(社)日本自動車工業会、日本自動車輸入組合、(社)自動車部品工業会等の官民の協力により、'87 年の設立以来、自動車基準の国際調和と相互承認を促進する活動を行っています。特に、基準調和を進める国際協定である「国連の車両・装置等の型式認定相互承認協定」(58 年協定)及び「国連の車両等の世界技術規則協定」(98 年協定)に日本が加盟した'99 年以降は、自動車基準調和世界フォーラム(UN/ECE/WP29)における協定加盟国としての国土交通省の活動を支援してきました。
日本は 58 年協定に基づく ECE 規則 34 項目を採用し、また 98 年協定に基づく世界技術規則(gtr)5 項目の成立等において UN/ECE/WP29 活動に積極的に貢献してきましたが、これにより、乗用車の安全装置等の相当な部分が、58 年協定に基づく相互承認の対象となるなど、基準調和は大きく進展しています。

注1) 58年協定

(正式名称:車両並びに車両への取付け又は車両における使用が可能な装置及び部品に係る統一的な技術上の要件の採択並びにこれらの要件に基づいて行われる認定の相互承認のための条件に関する協定)

自動車の装置ごとの安全・環境に関する基準の統一及び相互承認の実施を図ることを目的として、1958年、国連において採択された協定。

【加盟国】 日本、ドイツ、フランス、イタリア、オランダ、スウェーデン、ベルギー、ハンガリー、チェコ、スペイン、セルビア、イギリス、オーストリア、ルクセンブルク、スイス、ノルウェー、フィンランド、デンマーク、ルーマニア、ポーランド、ポルトガル、ロシア、ギリシャ、アイルランド、クロアチア、スロベニア、スロバキア、ベラルーシ、エストニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ラトビア、ブルガリア、トルコ、マケドニア、欧州連合(EU)、オーストラリア、ウクライナ、南アフリカ、ニュージーランド、リトアニア、アゼルバイジャン、キプロス、マルタ、韓国、マレーシア、タイ、モンテネグロ

(46カ国/1地域、平成19年4月現在)

注2) 98年協定(又はグローバル協定)

(正式名称:車両並びに車両への取付け又は車両における使用が可能な装置及び部品に係る世界技術規則の作成に関する協定)

自動車とその部品の安全性と環境レベルの向上や国際流通の円滑化を図るために、各国ごとに相違している自動車の安全性や環境の技術上の基準を世界的に調和させることを目的として、1998年、国連において採択された協定。

【加盟国】 カナダ、米国、日本、フランス、イギリス、EU、ドイツ、ロシア、中国、韓国、イタリア、南アフリカ、フィンランド、ハンガリー、トルコ、スロバキア、ニュージーランド、オランダ、アゼルバイジャン、スペイン、ルーマニア、スウェーデン、ノルウェー、キプロス、ルクセンブルク、マレーシア、インド、リトアニア、モルドバ

(28カ国/1地域、平成19年4月現在)

注3) 自動車基準調和世界フォーラム(UN/ECE/WP29)

自動車の安全、環境に係る国際調和基準の策定、58年協定(相互承認協定)及び98年協定の管理等を行っている国連欧州経済委員会(UN/ECE)内に設置されたフォーラム。

参考) 自動車基準認証国際化研究センター(JASIC)

日本の自動車基準・認証の国際化を推進するため、昭和62(1987)年10月に設立された団体。産官の協力のもと、UN/ECE/WP29における基準調和の推進、アジア諸国との基準調和に係る協力などの活動において中心的役割を担っている。